

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ～す
<https://japan.otakaranews.com>

じゃぱんお宝にゅ～す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

YUKIWA
ユキワ精工株式会社

ユキワ精工 3月1日より“Go Green Challenge”スタート

ツールホルダー「グリーンG1チャック」1本販売につき ユキワ精工が購入者に代わって環境保護団体にへ寄付 ユーザーとともに持続可能な社会の実現目指す

ツールホルダー購入で 「緑の募金」へ寄付

ユキワ精工は、3月1日より“Go Green Challenge(ゴー・グリーン・チャレンジ)”をスタートする。

“Go Green Challenge”は、同社が提供するツールホルダー「グリーンG1チャック」について、1本販売につき100円を環境保護団体へ寄付する。

対象製品の「グリーンG1チャック」は、工具使用量の削減、不良品の削減、サイクルタイム短縮などの効果が期待でき、省資源・省エネルギーにつながる環境に優しいツールホルダーとして多くの機械加工企業に愛用されているロングセラー商品。

“Go Green Challenge”活動は、顧客がグリーンG1チャックを購入する際に、ユキワ精工が購入者に代わって1本につき100円を公益社団法人 国土緑化推進機構「緑の募金」へ寄付する取り組みで、集まった募金は植林等の環

境保護活動に活用される。

グリーンG1チャックで カーボンニュートラル

今回の“Go Green Challenge”活動は、同社のツールホルダー「グリーンG1チャック」を利用することで、エンドユーザーにおいて省資源・省エネルギーを実現されるとともに、植林を進めて緑を増やすことでCO₂を削減し、地球温暖化の防止を図り、持続可能な社会の実現にも寄与する。

ユキワ精工が目ざす 3つのチャレンジ

昨今は地球温暖化防止のためのCO₂削減が産業界の喫緊の課題となっている。

多くの企業がSDGs(持続可能な開発目標)を掲げ、温室効果ガス排出量を均衡させてゼロにする「カーボンニュートラル」の目標を掲げている。



特にこうした取り組みは、製造業の間で急速に拡大しつつあり、今後さらに加速が予測される。

ユキワ精工の“Go Green Challenge”

は、活動を通して以下の目的を目指していく。

- ①加工における省資源・省エネルギーにより、ユーザーの利益を増やす。
- ②加工改善により、ユーザーの笑顔を増やす。
- ③植林を進め、緑を増やす。

同社は、自社製品の「グリーンG1チャック」を利用してもらうことで、エンドユーザーにとってもカーボンニュートラルの目標達成に寄与することから“Go Green Challenge”を積極的に推進する。

三者一体で 持続可能な社会の実現へ

ユキワ精工は、今後も利用者にメリットをもたらす環境に配慮した製品開発に積極的に取り組むとともに、販売代理店(全国ユキワ会)の協力を得て、利用者であるエンドユーザーを含めた三者一体で持続可能な社会の実現を目指していく。

(資料提供：ユキワ精工)



■“Go Green Challenge”の詳細→ <https://www.g1-chuck.com/go-green-challenge/>
■ユキワ精工株式会社 URL→ <https://www.yukiwa.co.jp/>